

◆区長の基本的な考えについて
 問 ①区政改革推進会議の資料について、議論を深めていくには物足りない。議論の裏付けとなる資料作成に取り組む必要があるのでは。②区政改革について、議会・区民との協働に対する区長の覚悟は。 区長 ①よりわかりやすく内容のある資料となるよう努める。②区民、区議会と手を携えて区政改革を実現していく。

◆マイナンバー制度について
 問 ①「通知カード」の不達による再送準備に関して、保管やその後の対応についての考えは。②「個人番号カード」の交付申請の人員配置とさまざまな事例への対応は。③区民対象、区内事業者対象の説明会の実施回数は。④この間の準備作業を含めた率直な感想と覚悟は。 区民 ①施設できる部屋で厳

◆平成28年度予算と区長の基本姿勢について
 問 ①平成28年度予算編成に対する基本姿勢と重点点で取り組む課題は。②職員構成について見直しを。③外郭団体と区の役割を明確に。④既存基金を整理し医療環境整備基金の新設を。⑤民間建築物・特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化を促進せよ。 区長 ①ビジョンとアクションプランの着実な実現に向け予算を計上。18の戦略計画は

区政の重要課題。 総務 ②行政需要に的確に応えられる職員構成とする。③行政を補完・代替する役割を担い、区は仕組みづくりやチェック機能等を担う。 企画 ④新たな基金を設置。 技監 ⑤民間建築物は個々の状況に応じ促進。沿道建築物は平成28年度から5年で全棟耐震化を目指す。

重に保管。転送可能な場合は改めて通知し、区役所で受け取るか郵送のいずれかを選択。受け取り拒否、宛名なし等の場合は3か月程度保管し、最終的に破棄する。②区内6か所の区民事務所の各臨時窓口

◆地域医療について
 問 ①区長の地域医療に対する考えは。②5病院構想の見直しは。③23区平均の2分の1の病床確保を。④特区等も活用し、積極的に病床確保を。⑤練馬区に災害拠点病院を。⑥総合福祉事務所管轄ごとに地域包括ケアシステム構築を。 区長 ①丘病院の改築で、重点医療を拡充し、最先端機器の導入と、高齢化に対応した医療機能の拡大を。②光が丘病院の後利用には特別養護老人ホーム等を併設せよ。 区長 ①区民の命と健康を守り、安心して生活できる環境を整えること。 副区長 ②基本的な考えはビジョンに継承。

◆子育て・介護に優しい練馬を
 練馬区議会公明党 吉田 ゆいひ
 問 ①介護予防施策を体系化して10年間のロードマップを作成し効果検証を。②シルバー人材センターの事業を拡充し、介護予防施策の推進を。 高齡施策 ①10年後を見据えた施策の方向性や目標値の設定を検討。②介護予防・日常生活支援総合事業に、お困りごと支援事業の一部を取り入れ、事業の拡大を検討。

◆生活困窮者自立支援の拡充で
 練馬区議会公明党 西野 こういち
 問 ①生活困窮者支援への区長の考えは。②区報・チラシによりさらなる制度の周知を。③困窮者を関連部署と協力し、就労につなげる取り組みを。④区内企業・産業団体等と連携し困窮者の就労支援を。 区長 ①効果的な支援策について調査を行い支援の充実を図る。 福祉 ②積極的な周知活動に取り組む。③庁内対策推進会議を設置し関係部署間の連携に努める。④区内企業に個別に働きかけ区内産業団体等にも協力を呼びかける。

◆区政改革について
 問 ①区政改革推進会議の議論についての区長の感想は。また改革を具体化するためのヒントは得られたか。②改革は費用対効果や効率性、サービスと受益者負担のバランス等の見直しが必要。区長の見解は。③区政改革を考える資料での具体的な課題は。④現在の人事制度の改善方法は。⑤職員に必要な意識改革とは。 区長 ①改革へのヒントを得た。②現状を周知することが重要。③子ども・子育て支援や超高齢社会への対応等。④人事制度にはさまざまな制約があり、制度が抱える課題を問題提起。⑤問題意識を持ち自ら課題を発見すること。

◆区政に独立自尊の精神を！
 練馬区議会自由民主党 福沢 剛
 問 ①出張所の現状と課題は。②今後の各出張所の形態と役割は。③全区一律ではなく地域に合わせた機能、役割を持つことが重要。区の見解は。 副区長 ①事務量等が激減。施設活用の検討が必要。②課題等を検証し地域の見守りの場をめざす。③来年度策定の区政改革計画の中で整理する。

◆文化・芸術について
 問 ①文化・芸術の役割に対する区長の考えは。②文化・芸術を進める拠点施設のあり方の検討を。③先端技術を活用した文化・芸術と観光のマッチングを。④文化・芸術のインターネット等を活用した一元的な情報発信の整備を。 区長 ①区民生活を豊かにするうえで大きな役割を果たす。

◆生活困窮者自立支援制度について
 問 ①MCI段階で予防対策と周知啓発を。②介護家族が

一般質問(要約)

◆教育について
 問 ①総合教育会議における教育・子育て大綱策定の方針と議論の中心項目および区独自の項目内容は。②道徳授業の意義と現在行われている道徳授業の内容は。③文科省が道徳教科化に踏み切った背景と判断は。④「道徳の教科化」へ移行するにあたっての課題と留意点は。⑤規範意識や心を育む指導と評価のあり方への議論が肝要。区の見解は。 総務 ①ビジョンを中心に重要な項目について記載する。いじめ・不登校対策等、区独自の幼保一元化等を掲げている。 教育長 ②授業で培われた道徳性を実践する態度を養うこと。③所期の目的を果たせていない現状から教科化の必要性を示した。④適切な教科書等の選定等が課題。⑤成長の様子等の評価方法を検討

◆生活困窮者自立支援の拡充で
 問 ①生活困窮者支援への区長の考えは。②区報・チラシによりさらなる制度の周知を。③困窮者を関連部署と協力し、就労につなげる取り組みを。④区内企業・産業団体等と連携し困窮者の就労支援を。 区長 ①効果的な支援策について調査を行い支援の充実を図る。 福祉 ②積極的な周知活動に取り組む。③庁内対策推進会議を設置し関係部署間の連携に努める。④区内企業に個別に働きかけ区内産業団体等にも協力を呼びかける。

◆文化・芸術について
 問 ①文化・芸術の役割に対する区長の考えは。②文化・芸術を進める拠点施設のあり方の検討を。③先端技術を活用した文化・芸術と観光のマッチングを。④文化・芸術のインターネット等を活用した一元的な情報発信の整備を。 区長 ①区民生活を豊かにするうえで大きな役割を果たす。

◆生活困窮者自立支援制度について
 問 ①MCI段階で予防対策と周知啓発を。②介護家族が

◆教育について
 問 ①総合教育会議における教育・子育て大綱策定の方針と議論の中心項目および区独自の項目内容は。②道徳授業の意義と現在行われている道徳授業の内容は。③文科省が道徳教科化に踏み切った背景と判断は。④「道徳の教科化」へ移行するにあたっての課題と留意点は。⑤規範意識や心を育む指導と評価のあり方への議論が肝要。区の見解は。 総務 ①ビジョンを中心に重要な項目について記載する。いじめ・不登校対策等、区独自の幼保一元化等を掲げている。 教育長 ②授業で培われた道徳性を実践する態度を養うこと。③所期の目的を果たせていない現状から教科化の必要性を示した。④適切な教科書等の選定等が課題。⑤成長の様子等の評価方法を検討

◆生活困窮者自立支援の拡充で
 問 ①生活困窮者支援への区長の考えは。②区報・チラシによりさらなる制度の周知を。③困窮者を関連部署と協力し、就労につなげる取り組みを。④区内企業・産業団体等と連携し困窮者の就労支援を。 区長 ①効果的な支援策について調査を行い支援の充実を図る。 福祉 ②積極的な周知活動に取り組む。③庁内対策推進会議を設置し関係部署間の連携に努める。④区内企業に個別に働きかけ区内産業団体等にも協力を呼びかける。

◆文化・芸術について
 問 ①文化・芸術の役割に対する区長の考えは。②文化・芸術を進める拠点施設のあり方の検討を。③先端技術を活用した文化・芸術と観光のマッチングを。④文化・芸術のインターネット等を活用した一元的な情報発信の整備を。 区長 ①区民生活を豊かにするうえで大きな役割を果たす。

◆生活困窮者自立支援制度について
 問 ①MCI段階で予防対策と周知啓発を。②介護家族が

平成27年第四回定例会の一般質問は、11月30日・12月1日・2日の3日間、12名の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。全文は1か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧になれます。ぜひご利用ください。

◆区長の基本姿勢について
問 安閑連法は立憲主義を破壊し強行。憲法尊重擁護義務にも反する。区は違憲性を認識し反対の意思を示すべき。
総務 区として意見を述べる考えはない。

◆マイナンバー制度について
問 ①個人番号制度は漏えいを防ぎ社会保険の抑制・削減が目的。凍結を。②介護や制度融資等、区業務での番号提供・記載・保管等、取り扱いの課題多い。認識は。③国は確定申告書等、番号未記載でも受理し罰則・不利益なし。

◆区長の広報について
問 ①区長の広報に取り組む基本姿勢は。②「よどりみどり練馬」キャンペーンを通じての手応えや今後の展開は。③全庁的な広報活動の成果は。④区独立70周年に向けての積極的な広報の展開は。

◆区長の広報について
副区長 ①区にイメージアップを積極的に図ることが重要。②これまでにない大きな反響。今後も戦略的・積極的に展開。③報道機関へのパブリシティによる掲載実績が平成24年度15件、26年度は25件と大幅に増加。④統一的なイメージで節目の年にふさわしいキャンペーンを展開。

◆スポーツ振興について
問 ①文化としてのスポーツの促進が重要であるが、区の見解は。②今後予定されている施設整備への区の見解は。③誰もがスポーツを楽しむ

安民法廃止へ！ 子どもの貧困なくす対策を

日本共産党練馬区議員 米沢 ちひろ

職員が記載する対応をとる。当しない場合は対象としない。
◆産業経済 ④セミナーの開催や窓口相談を充実し、支援。
◆子どもの貧困について
問 ①子どもの貧困の実情を把握する実態調査を行え。②子ども食堂の取り組みへの支援の必要性と認識は。③学習支援の場所や実施回数等、拡充と対象者拡大を行え。
区長 ①区の保有データの分析で課題を明らかにしている。②小規模保育事業等、多様なニーズに応えられるよう施設を整備。都の補助金を活用し保育士の処遇改善を図る。③27年度の状況を踏まえて事業内容の拡充を検討。就学援助に該

実施のさらなる充実を要望するが、区の考えは。④「練馬区スポーツ都市宣言」を行い、スポーツ振興の柱としては。
副区長 ①区民がスポーツに親しむ機会を拡大。②関係団体、住民等の意見を聴取し、周辺環境に配慮した上で整備を進める。③都の

◆光が丘地区の将来像について
問 ①一団地認定に備え、実施した建築物現状調査の結果は。②未認定の建築物調査の進捗状況は。③さまざまな調査は住民に負担が生じないよう努力を。④住民に将来像のアンケートの実施をしては。

進めよう！区民第一主義。

練馬区議会自由民主党 上野 ひろみ

◆光が丘駅周辺の自転車駐車を整備について
問 ①放置自転車対策として、恒久的な整備を強く要望。区は。②都道や駅前口一タリーの地下を活用した本格的で機能的な最新鋭の自転車駐車場の整備を。区は。③「ふれあいの径」の自転車駐車場は利便性と効果を招く。児童保育の質が守れるのか。②事業者の委託範囲が広がり、公的責任の後退が明らか。区は方針を見直せ。

一般質問（要約）

◆区長の基本姿勢について
問 ①平成28年度当初予算編成に臨む考えは。②平成28年度税制改正大綱の内容から、区財政に影響を及ぼす新たな課題を想定しているか。③希望出生率を数値目標として示す自治体もあるが、区はどう考えるか。④ねりマルシェに対する区の評価は。
区長 ①ビジョンおよびアクションプランに掲げた事業の進捗状況を精査し、着実な実現に向けて予算を計上する。②東京都や特別区の税財源の一部を国税に吸い上げる等の影響により、財政運営はより厳しくなるものと考ええる。③区独自の算出する考えはない。④来場者に練馬産農産物の魅力を伝えることができる。

◆田柄川緑道の再整備について
問 ①第二田柄川幹線の整備の進捗状況および今後のスケジュールは。②緑道の再整備には景観や利用効率の良いものになるよう、計画の段階から地域住民の意見も取り入れる場を設け、また早期実現を要望するが、区は。③現在、シールドマシンが推進する縦穴が築造され、トンネル掘削が平成28年1月開始見込み。平成31年度に完了予定。④適切な時期に地域住民と協議を進め、特色ある緑道を整備していく。

元気高齢者を増やし、健康寿命を伸ばす

練馬区議会民主党・無所属クラブ 浅沼 敏幸

◆健康寿命を伸ばす施策について
問 ①健康ポイント制度の導入を。②高齢者健康診査の受診率を上げなければいけないと思うが、区の考えは。③健康長寿都市宣言を23区初として制定してどうか。④健康

◆産業振興施策について
問 ①第2回産業見本市に向けた取り組みは。②創業ねりま塾の卒業生連携の機会創出を。③空き店舗を活用した創業支援を。④小中学校での起業家教育の促進を。⑤従業員50人未満の事業者へストレスチェック表の活用を促進を。
副区長 ①出展者数の増加に努める。②事業計画策定や産業見本市への参加等を支援。③拡充に取り組む。④中学校の職場体験学習等と関連させ起業家教育に取り組む。⑤区でもチェック表を作成し、庁内連携し支援。

高年齢者・障がい者施策推進で住みやすい街を

練馬区議会公明党 平野 まやひろ

◆児童虐待防止策について
問 ①児童虐待防止に関わる職員の負担は大きいものと考えられるが、区はどう捉えているのか。体制づくりと人材確保が必要では。②地域の支援にNPOを活用する考えはあるか。③児童相談所が都から区へ移管された時の課題を
問 高年齢者の地域参加と介護予防を目的としたポイント制度については区の考えは。
高年齢者 制度の導入も含め、より効果的で実効のある仕組みを検討していく。
◆災害時における情報伝達手段の確保について
問 ①災害時には、区民が理解しやすい明確な情報発信を。②情報伝達手段の多様化を図るべきだが、区の考えは。③各避難拠点の特設公衆電話や公衆無線LANの設置を踏まえた運用マニュアルを作成してはどうか。
危機管理 ①音質向上等のため無線のデジタル化や、ソーシャルメディアの活用等を進めている。引き続き伝達手段の充実に取り組む。③避難拠点運営連絡会の意見や訓練の結果等を踏まえ、各拠点の運営マニュアルに反映させる。

◆高年齢者・障がい者施策推進で住みやすい街を
問 ①特別養護老人ホームの整備は。②高年齢者相談センターの本所と支所間の連携の強化を。③保健相談所と高年齢者相談センターの連携の強化を。④地域密着型サービスの周知を。⑤看護小規模多機能型居
副区長 ①今後区外での整備も課題、検討。②さらなる連携を図る。③福祉・医療の相談施設の連携をさらに強化。④地域ケア会議等を活用し周知に努める。⑤利用状況等を踏まえ検討。
◆子どもの貧困対策について
問 ①まちライブラリーの公衆無線LANの設置を。②図書館資料受取窓口の増設や開館時間の拡大を。③書籍の殺菌・消毒機器の導入を。④区政70周年に向け区の貴重な資料の電子化を。⑤ヒブリオバトルで子どもの読書活動の推進を。⑥図書館でベビーカーの貸出を。⑦3歳児等に本を贈るセ

◆障がい者施策について
問 ①障がい者施策に対する考えは。②区独自の補聴器助成を。③公共施設へ磁気ルー
副区長 ①今後区外での整備も課題、検討。②さらなる連携を図る。③福祉・医療の相談施設の連携をさらに強化。④地域ケア会議等を活用し周知に努める。⑤利用状況等を踏まえ検討。
◆読書活動の推進について
問 ①まちライブラリーの公衆無線LANの設置を。②図書館資料受取窓口の増設や開館時間の拡大を。③書籍の殺菌・消毒機器の導入を。④区政70周年に向け区の貴重な資料の電子化を。⑤ヒブリオバトルで子どもの読書活動の推進を。⑥図書館でベビーカーの貸出を。⑦3歳児等に本を贈るセ

◆**区長の基本姿勢について**
問 消費税10%増税と国の社会保障大改悪計画に区として反対せよ。
企画 社会保障改革と増税は、必要かつやむを得ないと認識。
◆練馬光が丘病院について
問 ①基本協定書に基づいた検証と医療機能の充実を。②改築の基本構想策定に向け広く説明会の開催を。③一団地認定の説明は全光が丘住民に。④新病院の差額ベッドは現行割合に抑えるべき。

健康 ①救急・小児等4つの重点医療を担い実績は年々増加。急性期後の医療等の拡充をめざす。②基本構想策定懇談会の内容は全て公開。策定には広く区民の意見を反映。③関係権利者に理解が得られるよう丁寧に説明。④今後、地域医療振興協会と協議。

◆**国民健康保険について**
問 ①来年度値上げしない手立てを。②多子世帯への均等割減を。③保険料支払いで生活保護基準以下の世帯を減免する境界層措置を実施せよ。
区民 ①値上げ抑制に配慮した方法を検討。②③国が検討中。動向を注視していく。
◆精神保健施策について
問 ①障がいの種別による格差は小さくすべき。区の認識は。②精神障がい者への心身障害者福祉手当と福祉タクシー券の支給を。③施策の検討段階で当事者や家族の声を反映させる仕組みを。④精神保健相談員を全保健相談所に配置し、常勤化せよ。⑤電話相談の時

◆**保谷駅周辺の踏切対策とまちなみについて**
問 ①保谷駅周辺の踏切は、渋滞の発生や事故の危険性、緊急車両走行の妨げなど、多くの弊害を招いている。早期の対策促進を。②区民が安全に歩ける、安心して買い物ができる駅前通りの整備を。③みどりバス南大泉ルートと保谷駅早期着着を。④大泉学園町までの大江戸線延伸を着実に実現し、その後、大江戸線を分岐・南下させ、西大泉・南大泉・石神井台・関町・立野町から、吉祥寺・三鷹方面へ接続させれば、区西部の利便性の向上に繋がると考える。積極的な検討を。
技監 ①抜本的な解決には連続立体交差化が有効。まちづくり等の検討を進め、西武新宿線立体化の進捗を踏まえて取り組む。②東西道路の早期

◆**光が丘病院改築は区民の声をもとに進めよ**
 日本共産党練馬区議団 島田 拓
問 ①病床確保のため練馬単独の医療圏を設定すべき。区の認識は。②単独医療圏実現へ区は先頭に立ち都に要請を。
区長 ①②地域包括ケアシステム構築には、地域の病床確保が必要。現行の医療圏には問題がある。あらゆる機会を捉え意見を述べ働きかける。
◆国民健康保険について
問 ①来年度値上げしない手立てを。②多子世帯への均等割減を。③保険料支払いで生活保護基準以下の世帯を減免する境界層措置を実施せよ。
区民 ①値上げ抑制に配慮した方法を検討。②③国が検討中。動向を注視していく。
◆精神保健施策について
問 ①障がいの種別による格差は小さくすべき。区の認識は。②精神障がい者への心身障害者福祉手当と福祉タクシー券の支給を。③施策の検討段階で当事者や家族の声を反映させる仕組みを。④精神保健相談員を全保健相談所に配置し、常勤化せよ。⑤電話相談の時

◆**財政について**
問 ①過去には目黒区や新宿区は、財政非常事態宣言を行った。区民に対し、率直に財政が厳しいことを伝え、理解を得る努力を。②近い将来、200億円余の財源不足に陥る。厳しくとも歳出削減に取り組まざるを得ない。財源を生み出す具体的な方法を問う。
区長 ①財政の現状や見通し等をまとめた資料を平成27年12月、議会と区民へ示す。
企画 ②収入増の工夫と収入額に見合った支出額にする見直しを求められる。基金や起債は今後の財政負担を見据えた計画的な積立と活用が必要。
◆施設について
問 区は、財政余力をはるかに上回る区立施設を抱えている。利用や必要性が下がった施設から再編・統合を進めるべき。利用者が激減した出張所の窓口事務の廃止と地区区民館および地域集会所の機能の再編・統合を。
区民 これまでの出張所としての機能・業務については、廃止を基本とし、施設の活用

◆**防・介護度改善の取り組み**
企画 ①統一的な会計基準の導入に向け、研究会を設置し、情報交換している。②他団体の事例も参考に研究。
◆高年齢者について
高年齢施策 ①街かどケアカフェ等を活用し高齢者の関心が高い事業を実施。②いきいき健康券やその他現物給付も含めたサービス全般のあり方を、今後区民の意見も踏まえ検討。強化に取り組む。
◆教育について
問 大津市で発生したいじめ問題は、教育委員会の隠蔽体質に問題があった。独立性、外部性が担保された実効性のある救済制度が必要だ。教育委員会による調査を前提としない、外部の弁護士によるいじめ通報の窓口の創設を。
教育長 教育委員会では「いじめ等対応支援チーム」で対策が形骸化しないよう取り組んでいる。法務省や警視庁等、複数の窓口を繰り返し周知。無。積極的な安全対策を。設置し上空へ拡散。地表付近への影響は環境基準値の数値の1以下と見込まれる。区は国等の事業者や地域住民との連絡会を立ち上げ、情報提供や安全確保に努めている。
◆関越道高架下高齢者センター
問 橋脚コンクリートの老朽劣化で危険な落下防止工事。沿道住民との十分な対話を。区民の意見を聞き、可能な限り反映した。今後も工事説明会等で十分に説明する。
◆光が丘病院大型化で経営は
問 区医師会と日本大学による過去2度の経営破綻。人材、経営力等を懸念。区の見解を。見込み等を十分考慮し、病院が持続可能な経営となるよう配慮して改築を進める。

一般質問(要約)

◆**産業界** ①農業者に広く意見を聞き、安全でおいしい練馬産野菜を区内外に広める事業として取り組む。ねりマルシェはより多くの来場者が都市農業の魅力を感じる企画を工夫。②営農の継続性や農地保全について農業者の理解が必要。高松地区の成果を他地区へつなげられるよう努める。

◆**職員の意識改革と人事制度改革について**
問 ①私の前職の民間企業では、人事制度改革と新たな研修の導入で、社員の意識が大きく変わった。区においても、職員の意識を住民本位に変革できるように人事評価制度の改善と研修の導入を。②民間企業との積極的な人事交流の開拓を。
区長 ①問題意識を持ち自ら課題を発見し、地域で区民とともに考え行動できる職員を育成。
総務 来年度新制度を導入し効果的な指導・育成につなげる。新たな研修は今後策定の「練馬区人事戦略」に盛り込む。②交流先を開拓し積極的に進め、職員の意欲向上や組織風土の改革を推進。

◆**地域文化** 来年度策定する公共施設等総合管理計画で、公共施設の適正配置、複合化等も視野に入れ、地域集会所のあり方を検討。
◆高齢者福祉について
問 高齢者人口の増加を理由に、非効率や無駄があることが見過ごされがち。①介護予防職員や委託業者の意識の向上と服務規律の徹底を図り、制度を適切、着実に運用。
◆財政経常収支比率は危機的
問 決算で経常収支比率86.1%は危機的な80%を大きく超過。区が頼る財政調整交付金は都税の国税化やオリンピック経費増大等で困難な課題が予想される。区民税増収は期待できず医療費や生活保護費増大には歳出カット徹底を。
企画 現時点の財政構造は健全。財政の現状や今後の厳しい見通しを区民に周知し、ともに考えながら持続可能な区民サービスの確保に努める。
◆区教育委員会の問題点
問 区立中学志望校選択制は

◆**民間の発想力で、区政に新しい風**
 練馬区議会自由民主党 かしま まさお
問 整備を関係機関に働きかける。③地域の道路整備に関する取り組みの進捗を踏まえて検討。④南北交通の利便性向上に大きな効果があると考える。エイトライナー構想との整合性を考慮し研究を進める。
◆学校施設の改築計画について
問 学校施設は教育面だけでなく、地域の拠点としての役割を備えている。大泉第二小学校をはじめ、体育館が2階にある学校は、安全安心な地域の拠点を創出するという観点から、優先的に改築を。
教育長 区立小中学校施設の維持管理と改築について調査中。避難場所や地域の拠点としての役割も含めて総合的に

◆**キャッチフレーズは幻想か**
問 「みどりの風吹くまちピジョン」戦略計画、「アクションプラン」実施計画等は意味不明で区民は理解出来ない。「教育大綱」素案も具体的に欠け現実問題に十分な言及なし。いかなる区政を行うのか。案を体系的に盛り込み、区の将来像を具体的に示している。抽象的なキャッチフレーズのみで、区政像が明らかでないとの指摘は全くあたらぬ。
◆区民はマイナンバー不信
問 区政喫緊の課題は、区民を数字で管理することによる個人の尊厳と個人情報無きか守るか。区政は信頼無く改めて徹底した職員教育を。
企画 教育・研修等を通じ、

◆**前川区政20か月 未だ政策も抽象的で意味不明**
 オンブズマン練馬 土屋 としひろ
問 職員や委託業者の意識の向上と服務規律の徹底を図り、制度を適切、着実に運用。
◆財政経常収支比率は危機的
問 決算で経常収支比率86.1%は危機的な80%を大きく超過。区が頼る財政調整交付金は都税の国税化やオリンピック経費増大等で困難な課題が予想される。区民税増収は期待できず医療費や生活保護費増大には歳出カット徹底を。
企画 現時点の財政構造は健全。財政の現状や今後の厳しい見通しを区民に周知し、ともに考えながら持続可能な区民サービスの確保に努める。
◆区教育委員会の問題点
問 区立中学志望校選択制は

平成27年第四回定例会の一般質問は、11月30日・12月1日・2日の3日間、12名の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。全文は1か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧になれます。ぜひご利用ください。